

## 職員による自己評価

**A. 環境・体制整備**

指導訓練室等スペース改善は課題。古い建物も屋外安全柵の設置、送迎車駐車場スロープの張り替え、相談個室の増設等改善された。今後も安全確保に必要な物は可能な限り整備していく。職員配置等は十分とはいえ、有資格者等支援の質を高める増員等は早期に必要と考える。

**B. 業務改善等**

保護者向け評価表活用、アンケート調査等による保護者様の意向把握と業務改善への反映を強化。職員の資質向上に向けた研修機会は増えた。

**C. 児童への適切な支援の提供**

適切なアセスメント、保護者のニーズ課題分析に基づいた個別支援計画の策定強化と、一人一人の特性、適応行動を図るためのアセスメントツールの導入等の推進が必要。子どもの情報共有による支援への反映が以前より向上、細かな配慮と支援強化が出来てきた。支援開始前の確認、終了後の振り返り等、情報を共有し改善しているが、更なる支援の質向上に向かい強化する。

**D. 関係機関や保護者との連携**

地域自立支援協議会への参加、区等行政機関との情報交換、他のデイサービス事業所との連携等は積極的に進めている。療育センター、学校教育機関、病院医療機関、発達支援センター等の専門機関との連携は十分でなく強化する。地域ケアプラズ、地区社協、地域自治会等地域団体との連携を増やしていく。

**E. 保護者への説明責任等**

日々の連絡ノート、ブログを通して活動情報提供、いっぱい通信、ホームページ等での情報発信を更に強化し密にしていく。又、保護者様の抱える課題の共有と解決に積極的に関わり支援の輪を高め信頼関係を深める。茶話会等の保護者会等を開催し保護者同士の連携を支援していく。

**F. 非常時等の対応** 緊急時対応、防犯、感染症対応マニュアル等を見直し整備し、保護者や職員に周知する。有事の際に活動できるレベルまで今後も月々の避難訓練を続ける。

## 保護者による評価

**A. 環境・体制整備**

建物が古く、バリアフリー等が十分とは言えない。特に2階は狭く、成長期の子供にとって厳しいと思う。最近、安全柵の新設、相談・落ち着き個室の増設整備、送迎車駐車場の整備等安全面での改善がなされ有り難い。今後とも出来る限りのバリアフリー等安全対策の環境改善を図って頂きたい。

**B. 児童への適切な支援の提供**

屋外での活動、遊びの機会を多く設け実施してくれ有り難い。室内での活動の工夫を考えて頂きたい。屋内での活動プログラム等には固定化しないような工夫が必要と思います。夏休み等長期休暇に種々の企画を設け、実施し子供も大変喜んでいく。子供の知らなかった得意な事や課題を優しくサポートして頂くと共に、暖かい日々の支援に感謝しています。親子共に支えて頂いています。他の児童クラブや障がいのない子供との活動の機会等は特に求めています。有れば尚良いと思います。

**C. 保護者への説明等、事業所からの情報発信等**

連絡ノートやブログ等で子ども達の日々の活動様子を知ることが出来て良い。いっぱい通信での職員の配置状況や変化等の通知は有り難い。茶話会等を通して父母の会、保護者会等の開催による保護者同士の連携支援の場を設けるよう考えて欲しい。卒業後の交流機会もあると尚良い。昨年行った茶話会は楽しかったです。

**D. 非常時等の対応**

緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、避難訓練マニュアル、感染症対応マニュアル等が簡単に見れるようになると有り難い。毎月実施している子ども達の避難訓練は非常時に役立ちとても良い活動だと思えます。ぜひ今後とも続けて頂きたいと思えます。

**E. 満足度**

いつも有り難うございます。子どもは、いっぱいの利用をととても楽しみにしています。事業所の支援には満足しています。



### 事業所内での分析

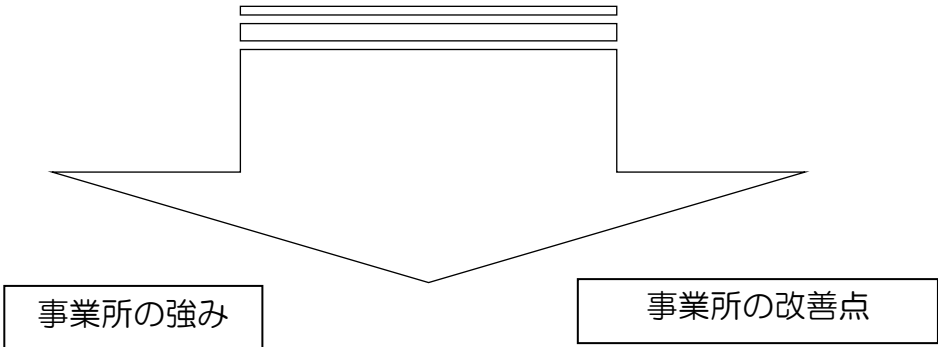
#### 【共通点】

屋外の活動には、一定の評価と賛同があり日常生活リズムを整え、体力健康増進に必要な共通認識が確認されています。今後とも継続していきたい。子ども達一人一人の個性と能力を更に高めていく日々の支援のあり方を保護者の方々も大きく期待している事が再確認されました。事業所の活動内容、情報発信への期待が確認されています。茶話会等保護者との交流機会の必要性と継続を再確認致しました。

#### 【相違点】

緊急時等の対応、安全面への期待感等にご意見が少ないと感じられました。様々な機会を通じてこちらからの情報発信が少ないと感じると同時に、一層のご理解を頂くための努力と活動に務めます。日々の支援内容についての率直なご要望、ご意見を今後とも頂ければ有り難く存じます。

### 分析・検討してみても…



#### 事業所の強み

- A. 放課後等デイサービスの制度が出来る前から支援を継続している職員が多いので、子ども達の成長を確かめ合いながら継続した支援と、これからの支援に見通しを持って関係性を深めていくことが出来ている。
- B. 小学校低学年から等の長い支援の中で保護者との関係性も深くなっており、保護者の抱えている課題の共有、解決等により連携した支援が出来、深めていく事が出来る。
- C. 経験豊かな職員（児童指導員等）を多数配置しており、日々の活動での子ども達への職員配置比率が高く、安全ときめ細かな支援サービスの提供が可能となっている。

#### 事業所の改善点

- A. 施設の建物が古く、設備面を含め更新、改善等の工夫と実施、安全確保が必要。
- B. 非常時、災害時等のマニュアル整備と内部、外部を含め周知することに課題がある。有事の際、実際に活動出来るまでの訓練と習得にむけ今後とも継続する。
- C. 障がい児支援への専門的知識等の習得と対応の機会を増やす事に加え、計画的な人材育成および専門知識を持った有資格者の確保が急務といえる。
- D. 保護者の方々、外部の関係機関との連携支援活動を促進するための情報発信力強化が必要であり、事業所としての情報ネットワークの見直しと再構築が急務である。
- E. 保護者との課題共有と解決の体制作り。

## 事業所の改善への取り組み

- A. 子ども達への支援活動の質を高め、広めていくための職員間の話合いの強化と情報共有および統一した支援活動の推進を強化する。
- B. 保護者との話し合い機会を増やし、保護者が抱えている課題解決に積極的に関わることで保護者との関係性を深め、保護者への支援活動を高める。
- C. 保護者との繋がりを深めるための茶話会等イベント開催の企画立案と実施を継続する。
- D. 外部関係機関と連携支援活動の輪を広め、高めるため、地域ケアプラザ、地域社会福祉協議会、地域自治会、地域訓練会、他の放課後等デイサービス事業所等との連携活動を推進する。
- E. 保護者、外部支援関係機関への情報発信力を強化し、「いっぱい事業」に対する一層の理解を高めて頂くための現情報ネットワークの見直しと再構築を進める。放課後等デイサービス単独のホームページを開設する。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

一歩進んだ自己評価を行うことにより、より高く、広い支援を行っていくことの重要性と使命を再認識し、その目標を再確認出来ました。焦ることなく、着実にその目標実現に向け職員全員で邁進して参りたいと決意を新たに致しました。

令和2年4月20日

事業所名 いっぱい 放課後等デイサービス

担当者 管理者 岩田充史、統括 竹下惇